

## 新型コロナウイルス感染症患者情報の流出について

石巻保健所登米支所の職員が、新型コロナウイルス感染症患者に「就業制限通知書」及び「療養通知書」を送付した際、他の患者宛ての通知書を誤って送付した事例が判明しました。

当該患者をはじめ、関係者の皆様に多大な御心配と御迷惑をおかけしましたことにつきまして、心からお詫び申し上げます。

### 記

#### 1 内容

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、陽性患者が発生した場合は、保健所長名で「就業制限通知書」及び「療養通知書」を送付している。

石巻保健所登米支所の職員が、保健所内の決裁手続きを終えて、令和4年6月15日に文書を送付した際、誤って他の患者に係る通知書を封入し送付したため、個人情報が出たもの。

「就業制限通知書」及び「療養通知書」に記載されていた個人情報  
氏名、住所、症状、診断（初診）年月日、療養期間、療養場所

令和4年6月17日、誤った通知書を受け取った方（以下「A氏」という。）が、他の患者（以下「B氏」という。）宛て通知書も一緒に同封されていたため、保健所に連絡したことにより発覚したものの。

#### 2 原因

発送に当たっては、封筒への封入前に封筒と公印を付した施行文書をセットにして組み合わせてから複数人の目で最終チェックすることとしていたが、確認が不十分となったもの。

#### 3 判明後の対応

A氏からの連絡を受けた同日、A氏宅を訪問し他の患者宛て通知書を引き取り謝罪した。また、B氏へ経緯を説明の上で謝罪した。

同時に文書発送を行った全員（A氏及びB氏を除く17人）に連絡し、誤った通知書が届いていないことを確認している。

#### 4 再発防止策

封筒宛名と通知書の氏名等の確認漏れが原因であることから、複数職員でのダブルチェックを厳格に行うことを徹底する。また、今後このようなことが再び起きないように改めて注意喚起を行い、再発防止に努める。